

熊本大学と半導体企業の連携によるインターンシップ事業 ～平成20年度地域連携型人材育成事業『IKKAN』実施～

我が国の半導体産業が競争力を確保していくためには、優れた人材の確保・育成が不可欠です。従来行われてきたインターンシップは単一の企業に滞在して実務を経験するものでしたが、複数の企業の協力の下に複雑な工程を経て完成する半導体産業では、全工程的な企業横断的な視野での学習の重要性が高まっています。

熊本大学では、九州半導体イノベーション協議会（所在：福岡市、熊本大学も会員）が平成19年度から取り組んでおります「地域連携型人材育成事業『IKKAN』」の平成20年度事業を受入し、連携して取り組むことといたしました。

（IKKANの特徴）工程別に強みを有する熊本および周辺の大手IDM企業や中堅・中小企業等が連携し、工程順に学生を受け入れる実践的な現場体験事業（インターンシップ）。学生は半導体の全製造工程を一貫して体験。

熊本大学からの25名程度の大学院生が工程に従い10日間程度の研修を積むことで、大学院自然科学研究科のプロジェクトゼミナール、半導体関連講義等の単位となります。

※九州半導体イノベーション協議会：

経済産業省が進める半導体産業の集積力を活かした新事業創出プロジェクト「九州シリコン・クラスター計画」の推進機関（平成14年5月設立。会長：佐々木 元 NEC会長。会員数：約240会員）熊本大学も協議会設立に中心的役割を果たし、その後の企画・立案・運営に積極的に貢献している。

1. 目的

製造工程順（シリコンウエハ・マスクから前工程、後工程、検査まで）に“一貫した”現場体験事業を行うことにより、次世代を担う半導体産業の人材の確保・育成を図る。

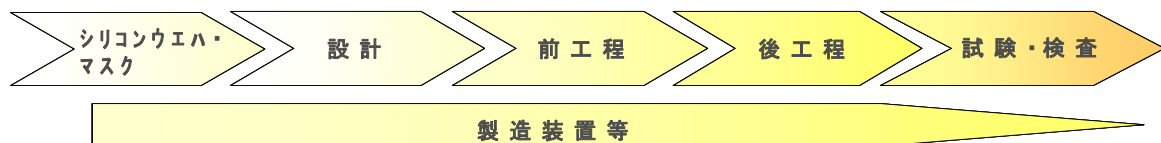
2. 事業概要

(1)開催時期：平成20年7月から9月のうち10日間前後

(2)対象者：熊本大学工学部情報電気電子工学科 修士1年 約25名

■実践研修Ⅰ＜工程別受入企業＞

1. シリコンウエハ：調整中
2. 設計：半導体設計企業
3. 前工程：ソニーセミコンダクタ九州(株)（熊本県菊池郡菊陽町）
4. 後工程：NECセミコンダクターズ九州・山口(株)（福岡県柳川市）
5. 検査：調整中（熊本県内）
6. 製造装置：東京エレクトロン九州(株)（熊本県合志市）
7. 部材：櫻井精技(株)（熊本県八代市）
8. アプリケーション産業：例）自動車メーカー等調整中



なお、実践研修Ⅰ終了後、長期の実践研修を希望する学生を受入が可能な企業に派遣する「実践研修Ⅱ」も実施予定。派遣期間は2～4週間程度。

（参考）九州地域の半導体産業は、1967年以降、約40年をかけて約830企業が集積。九州地域の半導体産業（集積回路、半導体素子、製造装置）の出荷額は、2005年で1兆9千億円（全国シェア19%）、その約3割が熊本地域。

お問い合わせ先

●熊本大学衝撃・極限環境研究センター 久保田 弘教授

〒860-8555 熊本市黒髪2-39-1 熊本大学衝撃・極限環境研究センター 202号室

電話 096-342-3294, FAX 096-342-3293 mail: kubota+secretary@cs.kumamoto-u.ac.jp

●九州半導体イノベーション協議会 松山、内川

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目15-19 KS・T駅東ビル302号

電話：092-473-6649 <http://www.siiq.jp/>